



ニ千ニ千ソウ

日日草 種からの育て方



種まき 4月～6月

・日日草の発芽の適温は、25℃前後と高いので十分に気温が上がってから蒔きましょう。

用意するもの

- ・ビニールポット 6 cm前後のもの
- ・用土 … 赤玉(小)6 腐葉土 4 又は市販の草花用培養土
- ・参考例として記載しましたが、水はけがよければ特に用土は選ばないようです。
(病気にならないよう新しい用土を使ってください。)



種のまき方

- ・ビニールポットに用土を入れ、1 cm位の穴をあけ種を2～3粒入れ土をかぶせます。

置き場

- ・発芽するまでは日陰に置きます。芽が出たら日当たりの良い場所で十分に日に当てて育てましょう。
- ・発芽は、25℃前後が適温とされています。夜は、気温が下がるのでビニール等をかけ保温しましょう。
ビニール等は、昼間特に晴れている日は、温度が上がりすぎるので外してください。

水やり

- ・土が乾かないように水やりをします。発芽するまでは鉢の底から吸水をしてください。
(上から水をかけると、種が流れてしまうことがあるため。)

鉢底からの吸水の様子

その後の管理

- ・発芽後は、陽当たりの良い場所で管理します。
- ・本葉が2～3枚になったら生育の良い苗を1本残し間引きします。
- ・本葉が6～8枚になったとき摘芯をすると枝が多くなり姿よく咲かせることができます。

苗が十分育ち、ポットの底まで根が回ったら植え付けの適期です。

